

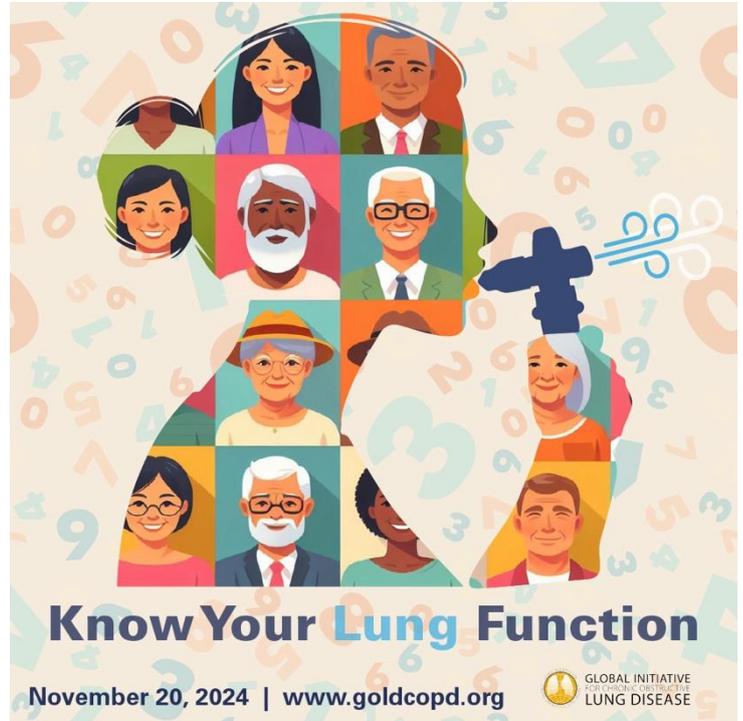
## 世界 COPD デー 2024

COPD という病気を、ご存知ですか？  
日本語では、慢性閉塞性肺疾患、と訳されています。

かつては「肺気腫」や「慢性気管支炎」などとよばれていました。

喫煙がおもな原因で、息切れや咳・痰が増え、酸素吸入も余儀なくされる病気です。

そのため、別名「タバコ肺」ともよばれています。



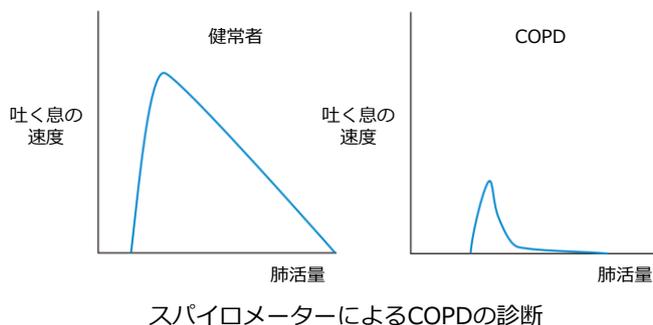
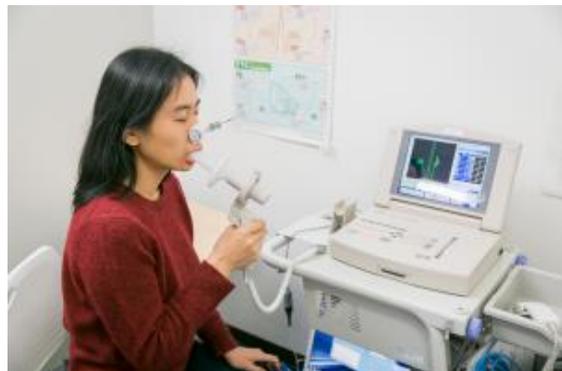
1997 年、WHO や米国国立衛生研究所の協力のもと、COPD の啓発と予防・治療を進める世界的組織、GOLD（COPD のためのグローバル・イニシアチブ）が発足しました。

GOLD は 2002 年から毎年、世界 COPD デーを、11 月の第 3 水曜日に開催しています。

今年の世界 COPD デーのテーマは、“Know Your Lung Function” です。

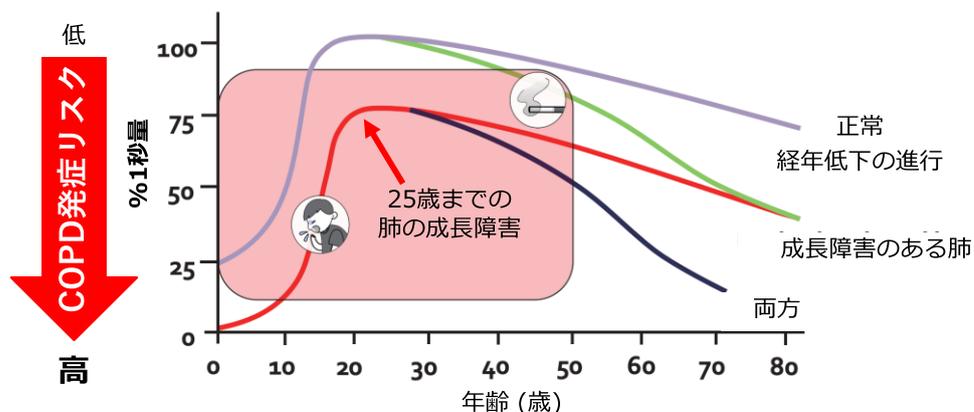
これは呼吸機能（スパイロメトリーとも呼ばれます）を測定し、自分の呼吸機能を知っておくことが大切であることを示しています。

スパイロメトリーはもちろん COPD を診断するために必要不可欠なツールであるだけでなく、生涯に渡って“肺の健康状態”を測ることもできるツールなのです。



<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/cohort/survey/examination/index.html>

タバコ以外にも COPD の発症に関わる要因がたくさんあることがわかっています。子宮の中にいる時期から若年成人期に至るまで肺は成長し続けています。この時期では、大気汚染や呼吸器感染症など肺の成長を妨げるような障害に対して脆くなっており、人生の後半に慢性的な呼吸器疾患に罹患するリスクとなります。残念ながら、症状が出る頃には、肺の機能はかなり低下しています。



呼吸機能は肺の健康の程度を予測できるだけでなく、全身の健康の程度も予測できます。呼吸機能が少し低下しても死亡のリスクの増加につながります。生涯を通して呼吸機能を測定することで、COPDをはじめとしたさまざまな呼吸器疾患の早期発見と治療を行うことができます。COPD は日本では男性の死因の第 9 位となっており、早期の治療介入により死亡リスクを低下させることができます。

ぜひお近くの病院や診療所で呼吸機能検査を受けましょう。